

働き方改革の推進に向けて

求められる管理職のマネジメント

11月30日（火）、12月1日（水）に「学校における働き方改革の推進における管理職のマネジメント」をテーマに、第2回管内小・中・義務教育学校管理職研修会を対面方式で実施しました。

研修会では、各校の校長先生、副校長先生、教頭先生方が持参したレポートをもとに、働き方改革推進に向けた各校の具体的な取組と改善策について熱心に協議しました。

以下のとおり、各校での創意ある取組と先生方の意識改革により、昨年度にも増して、着実な成果が表れています。

先生方一人一人が、働き方改革に向けての意識を一層高め、長時間勤務を縮減し、よりよい職場環境作りを進めていきましょう。

熱心にグループ協議する参加者



小学校・義務教育学校(前期)部会

時間外在校時間が長い教員への効果的な対応について

- ・ 5時間授業日の増設
- ・ 日課表の工夫による下校時刻の繰り上げ（放課後の事務処理時間の確保）
- ・ 会議のペーパーレス化、会議時間の短縮
- ・ 学校行事、校内研修等の精選
- ・ 市町村教育委員会による留守番電話の導入
- ・ 保護者・地域ボランティア、外部人材の有効活用
- ・ 1人1台端末タブレットの有効活用
- ・ 指導案、教材等の共有、校務支援システムの活用
- ・ ドリルや作品コメント等の縮減
- ・ 2学期制の導入、通知表所見の縮減
- ・ 小学校専科教員の活用（空き時間の確保）



中学校・義務教育学校(後期)部会（小学校部会の内容も協議）

部活動指導の負担軽減に向けての方策について

- ・ 部活動複数顧問制による分担指導（放課後の事務処理時間の確保）
- ・ 部活動数の適正化
- ・ 部活動指導員、外部指導者等の増員
- ・ 校務分掌の軽重を部活動負担を考慮して決定
- ・ 部活動終了時刻の見直し
- ・ 地域部活動移行の積極的検討
- ・ 各種連盟との連携による大会の縮減



教師が、笑顔ではつらつと、子供たちの前に立てるよう
教職を志す人員が増加するよう
より一層の働き方改革を推進していきましょう。